



県央大橋東詰からのアクセス道路整備を！

問 県央基幹病院の建設に伴う新たなアクセス道路整備、周辺地域の冠水対策など整備基本計画の進捗状況はどうか。

答 県央大橋東詰から国道8号にかけての直線道路を病院の開院までに整備するべく花角知事に熱く伝えています。

問 「しんぶん赤旗」の庁舎内での購読勧誘・配達・集金のセールス業務が議員により行われていることは市長が許可しているのか。

答 市庁舎では許可証は発行していない。執務室内での配達集金は制限すること、また強要を慎むよう副市長名で議長に申し伝えた。

問 通学路の安全対策の現状と、小学校では集団登下校されていない学校数とされない理由を伺う。

答 年度当初に教職員と集団下校し地域の危険な場所を確認しています。集団登下校してないのは3校で登下校の見守りをお願いしている。

問 緊急消防援助隊に登録しているのか、防災意識を高める



大岩 勉 (スワロークラブ)



答 町づくりをしています。避難所、災害現場の様子の記録などを使用し、出前講座など今後も継続します。



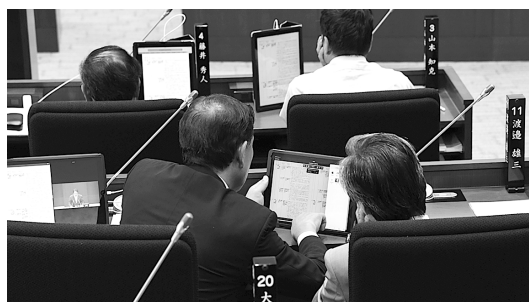
県央基幹病院建設予定地

ぎかいコラム

燕市議会でもタブレット導入

ペーパーレス化が進む中、平成 25 年5月に全国で初めて神奈川県逗子市議会がタブレットを導入して以降、全国の自治体議会で取り組みが広がっています。新潟県内でも燕市を含む6市議会（胎内市・上越市・糸魚川市・柏崎市・長岡市）で導入されています。

燕市議会におけるこれまでの取り組みは、平成 27 年5月に議会報等特別委員会が会議録調製委託先の(株)会議録センターで初めてタブレットの操作研修を行い、その後、平成 28 年6月には全議員のタブレット研修を実施。また、平成 29 年2月に議会運営委員



9月定例会でのタブレット使用の様子

会が茨城県守谷市議会へペーパーレス議会の取り組みを視察するなど、導入の検討を重ねてきた結果、今9月定例会から本格導入となりました。

タブレットの導入により、議会や地域における議員活動の効率化、ペーパーレス化による印刷や製本、配送などの人的コストの削減など多くのメリットがあります。これからもさらなる議会改革に努めていきます。

燕市議会のこれからを考えて

